

# 令和4年度 第5回行財政改革推進本部会議要旨

日時：令和4年12月5日（月）

午前9時46分～午前10時13分

会場：庁議室

## 【報告事項】

### 1 行財政改革推進プラン2025の進捗状況等について

「限られた行財政資源を活かした持続可能な行財政運営の推進」を図るため、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする「石巻市行財政改革推進プラン2025」を令和2年度に策定した。

令和3年度の各課における実施状況及び進捗状況等について報告するもの。

#### (1) 主な内容

##### 【進捗状況】

行財政改革推進プラン2025は、3つの基本目標に基づき、旧プランの取組を継承する52項目と新たに設定した15項目を合わせた67項目・70指標を取組項目として定め、その取組を推進することで、限られた行財政資源を活かした持続可能な行政運営を目指している。

本プランの令和3年度実施状況については、全項目のうち「完了」した指標が0件（0%）、「計画通り」が44件（63%）、「遅れている」が25件（36%）、「未着手」が1件（1%）でプラン全体の※進捗率は63%となっており、順調に進んでいるとは言えない状況となっている。

一方、財政効果額については、令和3年度の達成率は166%となっており、計画を上回る効果を生み出している。

##### 【課題】

各取組項目について、計画通りに進められない理由として、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大」や「職員のマンパワー不足」が挙げられている。

しかし、今後の事業実施においては、ウィズコロナを見据えた新たな取組手法への転換が求められ、また、マンパワー不足についても、業務のスクラップやフローの見直し等の業務改善が必須であり、職員の行財政改革に対する意識の高揚と併せて、本計画を進捗管理する仕組みや執行体制が課題である。

また、個々の目標設定においても、目標を達成しているのにも関わらず財政効果が生み出せない等の現象が生じており、目標指標の見直しも今後の課題として挙げられる。

※進捗率は基本目標1～3までの全取組項目に対する「完了」及び「計画通り進んでいる」の割合

### 【影響・効果】

行財政改革推進プラン2025の取組項目を推進したことで、「市民参画・協働の推進と行政サービスの充実」、「財源の創出と安定確保」、「業務の最適化と経費の削減」が図られた。

財政効果額については、令和3年度目標額442,584千円に対して736,363千円の実績額となり、293,779千円の効果があった。

また、当初見込んでいなかった財政効果として、蛇田公民館跡地のほか5件の「未利用市有地財産の売払い・利活用の推進」として558,841千円の効果があった。

さらには、取組項目以外の財政効果として、市営住宅管理運営基金を充当し、災害公営住宅建設事業債を繰上償還したことにより、940,000千円の利子が削減され、これにより令和3年度の財政効果額の合計は、目標に対して1,792,620千円の増となった。

#### (2) 今後の予定

令和4年12月 市ホームページにて進捗状況について公表

以 上